

令和4年2月28日

保護者のみなさまへ

泉佐野市立日根野小学校
校長 飯田 恵子

令和3年度学校教育自己診断の結果について

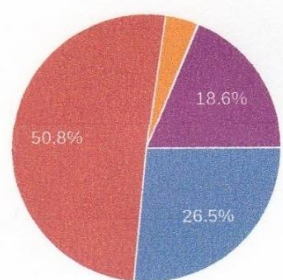
保護者のみなさまには、学校教育自己診断アンケートにご協力をいただき、誠にありがとうございました。ご回答頂きました集計結果の中で、本校教育の課題と考えられるものをいくつかご報告させていただきます。また、ご回答いただきました内容については、子どもたちの健やかな成長が図られるよう、今後の教育活動に活かしてまいりたいと思います。

【保護者アンケートより】

保護者のみなさまにお願いしましたアンケートでは、主に「学校について」と「子育てについて」の内容についてお尋ねいたしました。本年度は「学校について」の項目⑦について報告させていただきます。

- よく当てはまる
- だいたい当てはまる
- あまり当てはまらない
- 当てはまらない
- わからない

⑦「学校は、子どもに人権を尊重する態度を育てようとしている」

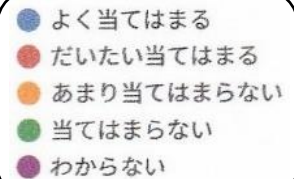


この項目については、肯定的な回答が77.3%(R2年度83% R元年度86%)になっています。

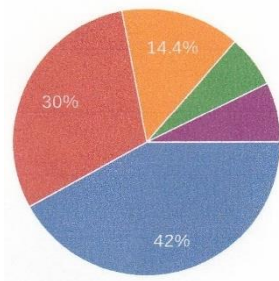
コロナ禍で2年間実施できなかった「人権参観」等を来年度は実施し、保護者のみなさまにも子どもたちが取り組んでいる学習内容をご覧いただく機会を設けたいと思います。また、学習の一環として、家庭で保護者と一緒に考えていただけるような取組みについても工夫していきたいと思います。これまでも、多文化共生・在日外国人、障がい理解、男女共生、反戦平和等の学習に取り組んできました。今後、「日根小だより」に【人権コーナー】を設け、学校全体や学年で取り組んだ学習内容を積極的に紹介してまいります。

【児童アンケートより】 … (対象:4～6年生)

子どもたちに対しては、主に「学校について」と「生活について」の内容についてアンケートを実施いたしました。本年度は「学校について」の項目⑫について報告させていただきます。



⑫「休み時間などに先生たちと話しやすい」

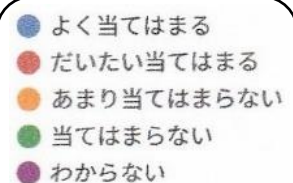


この項目については、肯定的な回答が72% (R2年度79% R元年度81%)となっています。

これからも、休み時間に子どもたちが先生に話しかけやすいように、普段から親しみやすい姿勢で接するように教職員は意識していきたいと思います。子どもたちとコミュニケーションをとることで、子どもたちが抱える不安に気づいたり、家庭での過ごし方を知ることができたりします。日ごろから授業なども含め、多様な子どもの考えや気持ちをしっかり受け止めながら、子どもたちと関わるように心がけていきたいと思います。

【保護者アンケート・児童アンケートより】 …子育てや生活について

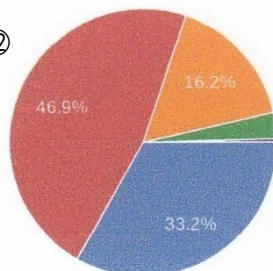
保護者アンケートと児童用アンケートにおいて、共通した内容のものとして「早寝早起きについて」また「家での遊び方について」の質問がありました。連動したものになっていますのでまとめて報告させていただきます。



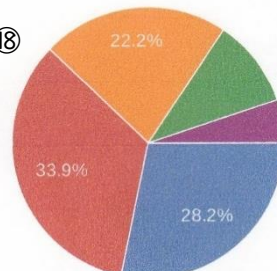
(保護者)⑫「子どもに早寝・早起きをさせている」

(児童)⑮「早寝・早起きをしている」

保護者⑫



児童⑮



「早寝早起き」については、保護者では肯定的な回答が80.1%（R2年度86% R元年度85%）となっています。児童では肯定的な回答が62.1%（R2年度69% R元年度75%）となっています。

新型コロナウイルス感染症の拡大により各ご家庭でも生活面においては様々な影響を受けていることと推察します。しかしながら、子どもたちが充実した学校生活を過ごすためには、十分な睡眠が必要であると考えています。「はよねるデー」の取り組みと「放課後の過ごし方」の取り組みを関連させて、子どもたちが健全な生活を送ることができるように努めていきたいと思います。

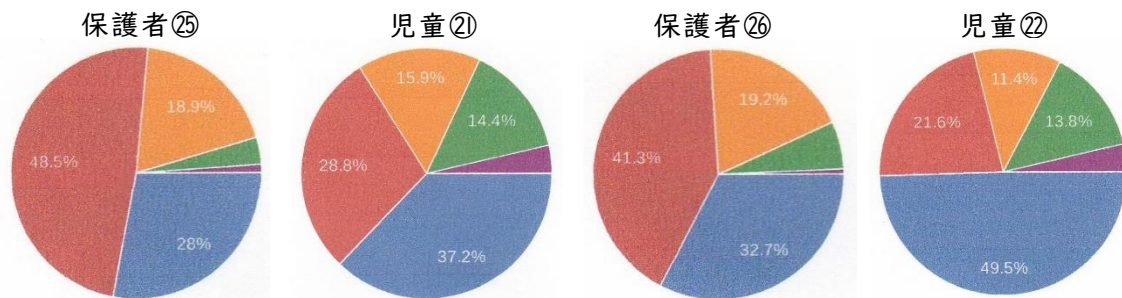
まず、新年度の始まりである4月の「保健だより」で「はよねるデー」の紹介と早寝・早起きのメリットを啓発しますので、ご家庭でも一緒に取り組んでいただくと幸いです。「放課後の過ごし方」についても、定期的に早寝・早起きや生活習慣について発信し、取り組みを継続してまいります。また、子どもたちには「絵本の読み聞かせ」等を通して、早寝・早起きについて啓発してまいりますので、ご家庭においても、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。

（保護者）②⑤「子どもに外で遊ぶように声をかけたり、一緒にあそんだりしている」

（児童）②①「家に帰ってから、友だちと一緒に遊んでいる」

（保護者）②⑥「子どものテレビやゲーム、スマホ、携帯などの利用は、時間やルールを決めている」

（児童）②②「テレビやゲーム、スマホ、携帯などの利用は、おうちの人とルールを決めている」



「家での遊び方」については、「外で遊ぶ…、友だちと一緒に…」の項目は、保護者では肯定的な回答が67.4%（R2年度74% R元年度75%）となっています。児童では肯定的な回答が66%（R2年度75% R元年度74%）となっています。

また、「ルール」の項目は、保護者では肯定的な回答が74%（R2年度76% R元年度75%）となっています。児童では肯定的な回答が71%（R2年度76% R元年度78%）となっています。

アンケート結果からも、コロナ禍により、自由に外遊びをすることや友だちと遊ぶことを積極的に促すことが難しいという現状が伺えます。一方、子どもたちがゲームやスマホなどを使い、直接対面せずに他者と通信することがこれまでより一層多くなってきています。その結果、さまざまなトラブルに巻き込まれる可能性が高くなる傾向があります。

学校においては、来年度、『初めてのスマホ安心ガイドブック』を配布し、スマホを使う上で気をつけることやネット上のマナーなどを学習する授業を計画しています。スマホの有無に関わらず、知らないことで被害者になる可能性があることを学ぶ機会を設けます。これまでも、「スマホ安全教室」を開催して、スマホに潜む危険性について学習してきました。どんな時でも、子どもたちが被害者にも加害者にもならないようにすることが重要です。そのためには、フィルタリングの利用をはじめ、ご家庭のご協力が不可欠のものと考えています。夏休み等の長期休業に入る前にスマホの使い方についての決まりを自分で考える取組みをし、啓発を推進していきますので、ぜひ、子どもたちとゲームやスマホについて話す機会をもっていいただければと思います。

＊お礼＊

今年度の「学校教育自己診断」はChromebook（クロームブック）を使って回答していただきました。保護者のみなさまのご協力をいただくことで、集計結果を迅速に出すことができました。その結果、校内での分析並びに課題に対する来年度への対策について、じっくり検討することができました。今回の提案については、適宜実践していきたいと考えています。今後とも、ご理解ご協力の程よろしくお願いいたします。

なお、日根野小学校のホームページでは、円グラフをカラーでご覧いただくことができます。併せて、ご覧くださいませようお願いいたします。